

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 12月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定で防火訓練を実施しているも、マニュアルに沿った行動、避難誘導をスムーズに行なうことが難しい。	各自防火意識を持つことと、マニュアル行動を身につける。	①人災につながりやすい事を理解し、予防に繋げていく。 ②災害発生時の対応マニュアルを個々に配布し、各職員が再確認する。 ③災害時の対応(通報、避難誘導など)手順を月1回ミーティングでシュミレーションする。	12ヶ月
2	6	身体拘束委員会を設置しており、学習会や研修でも学ぶ機会はあるが、日々のケアの中で、自分達のケアを振り返ることが必要。	身体拘束、弊害などについてしっかり理解することができる。自分達の日々のケアを定期的に振り返り意識することができる。	①身体拘束、高齢者虐待などについて学習会や外部研修などを通し理解を深める。 ②毎月のミーティングの中で取り上げ、自分達の言動や行動を振り返り不適切となることが無かったか確認する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。